



お茶のプロがいれたお茶をいただきながらの講習

「お茶の分量はこれくらい」と実演も



市民講座 「お茶屋さんとお茶を学ぶ日本茶講座」

市民講座「お茶屋さんとお茶を学ぶ日本茶講座」が、池田園茶舗の池田憲二さんを講師に迎え、6月27日と7月4日に行われました。

「お茶」の歴史の紹介や、おいしいお茶の入れ方、保存方法などお茶を飲むためのちょっとしたコツをていねいに伝えつつ、進められました。

合間には「ロックティー」という氷に直接濃い目のお茶を注いだものを試飲し、まろやかさに驚きの声がかかる場面も。

「自分の大事な人においしく飲んでもらおうという思いやりの心を添えて、いれてください」という池田さんの言葉に、参加者の皆さんは、感心しきりの様子でした。

第15回おおたき国際ノルディックウォーキング

6月29日、大滝総合運動公園で「第15回おおたき国際ノルディックウォーキング」が開催され、市内外から約450名が参加しました。

開会式の後、参加者全員でウォーミングアップを行い、12km、6km、3kmの順にスタート。

この日は、朝降っていた細かい雨が上がると、蒸し暑くなりましたが、参加者は大滝の豊かな自然を目や肌で感じながら、ウォーキングを楽しんでいました。



景色を楽しみながら歩く参加者

舞台上で、熱いトークが交わされました



劇団マームとジブシー伊達公演 「AAAかえりの合図、まった食卓、そこ、きつと-----」

6月28日と29日に「AAAかえりの合図、まった食卓、そこ、きつと-----」が行われ、多くの観客が伊達市出身の藤田貴大さんの作・演出作品を楽しみました。

28日の夜公演のあと、恩師でもある影山吉則さんとのトークショーも行われ、演劇を始めた経緯や高校時代の話で盛り上がりしました。「伊達が僕の原点。伊達で育って今の僕がある。それを忘れずに発信し続けたい」と今の想いを熱く語っていました。

第1回なないろ児童館まつり

7月12日、今年4月に開館したばかりのなないろ児童館で第1回児童館まつりが行われました。

50名ほどの子どもたちが、館名の「なないろ」に合わせて輪投げや魚釣り、七夕の短冊書きなどの7つのゲームに参加するというもの。5名のスタッフと5名のボランティア、2名の中学生が協力してお祭りを進めていきました。的当てゲームでは、的に当たったとき、逆に外れたとき子どもたちのにぎやかな声が、楽しい気持ちを伝えてくれました。



願いごと、かなうといいな

船を生け簀がわりに販売していました



夏のイベントがスタート —第33回有珠磯まつり—

7月6日、有珠海水浴場で第33回有珠磯まつりが開催されました。

この日はあいにくの曇り空でしたが、生うにや生つぶなどの新鮮な海産物を買求める来場者や海水浴を楽しむ家族連れでにぎわいを見せていました。

昨年から行われている「漁船体験試乗会」は定員を上回るほどの人気ぶり。

また、磯なべやミニうに丼は今年も大好評で、大勢の来場者が舌鼓をうっていました。



達南中学校 「赤ちゃんふれあい体験」

7月2日、達南中学校の3年生35名が、1歳未満の赤ちゃんとの触れ合いや疑似妊婦体験などを通して、命の尊さを考える授業を受けました。

3ヵ月と5ヵ月の赤ちゃんとそのお母さんが授業に協力。生徒たちは赤ちゃんを抱かせてもらったり、お母さんに妊娠や子育てなどへの質問などをしました。手馴れた様子の生徒からすぐに泣かれてしまい慌ててお母さんに助けを求める生徒などさまざま。「赤ちゃん欲しい!」などの発言が飛び出し、教室は笑顔であふれました。この日は参観日でもあり、来校していた保護者がつい手助けをするなど、親子で赤ちゃんの世話をする様子もみられました。



人形を使って沐浴の練習



赤ちゃんをあやすのは難しい…